

コラム：防鳥ネット設置によるレタスのシロガシラ被害対策

シロガシラ（図1）による農作物の被害（図2）は例年12月から見られます。被害対策として2cm目合の防鳥ネットによる被覆が有効ですが、糸満市の農家が実施している設置法が効果的、実用的なので優良事例として紹介します。

1. 防鳥ネット設置の概要（図3、4参照）

- (1) パイプを約2mの高さに箱型に設置する。ネットを支えるため、内側にも設置する。
- (2) 防鳥ネットは2cm目合いを用いる。
- (3) シロガシラの侵入を防ぐため、ネットは地面に接するように設置する。

2. 設置の利点及び問題点

- (1) 薬散、施肥等の管理作業に支障がない。
- (2) 設置のためにネット、パイプ等の初期投資が必要である。
- (3) ネット及びパイプはくり返し使用が可能である。
- (4) 調査事例の場合、設置に要する時間は10アールあたり4人で2時間程度である。



図1. シロガシラ



図2. 被害状況

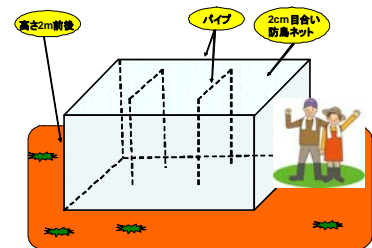


図3. 設置の概要



図4. 防鳥ネット設置状況（糸満市）